

3つの相棒



お話いただいたのは
近藤 嘉人 院長

☆ある日の出来事

○君は「まだダメ！」と言うと同時に、待合室にもどり、大好きな絵本とか、時には木製玩具などを抱いて、治療台に登るように戻ってきます。自分の意志で行動を決めるのです。本当に「こどもはスゴイ！」のです。感動させられます。嫌いな歯の治療を楽しくする術を学んで行動するので、私たちが驚かせます。こんな嬉しい子ばかりではないのですが、明らかに明確に意思表示をして行動する子どもたちが昔よりどんどん増えていきます。しかも、私たちに協力しようとする子どもたちの思考が見えてきます。

木のおもちゃ・ぬいぐるみ・絵本と図鑑は当院の歯科治療の3つの必須アイテムなのに、国の「緊急事態宣言」のもと、ウイルスの感染予防のために、診療室での出番をなくしました。私たちの歯科治療の重要な役割を持った相棒がいなくなりました。でも、子どもたちは相棒がいなくても頑張っています。嬉しいです。頼もしいです。ですから、私たち法人は、全アイテムを新規に購入し、「清潔な絵本・図鑑」「清潔な木のおもちゃ」の準備をしました。私やス

タッフの相棒が順番を待っているのです。

☆こどもの底力

私たち大人が考えている以上に、もっと大きく、強い「学ぶ力」と「やる力」を発揮しているのが自由空間です。当院の診療室は待合室との壁がなく「開放型自由空間」にしています。子どもたちが歯の治療の手助けをしてくれるアイテムを選べるのも自由空間だからと信じています。○君が絵本を持つつを見て、△△ちゃんが木のおもちゃを選べる自由空間と空気の流れが、子どもたちに伝わります。子どもが考えてやるのです。大人は口を挟みません、この伝える能力がこどもの底力だと考えています。だから「こどもはスゴイ！」のです。

診療室にある木のおもちゃ・ぬいぐるみ・絵本と図鑑は当院におけるこどもの歯科治療の3つの必須アイテムで

あり、優しさや癒しのためだけに備えられているわけではありません。3アイテムには子どもたちの深層心理を揺れ動かすフォース・パワーがあり、子どもたちの底力と刺激し合っているのです。大人が想像をこえた現象が起きていることに驚かされます。ですから、当院におけるこどもの歯科治療には、3つの相棒が必要なのです。私も学びます。



● 情報クリップ ●

新型コロナウイルスの収束が待たれるなかで、わたしたちは十分な感染対策をとりながら診療しております。皆様とともに、この困難を乗り越えてまいりたいと思います。

医療法人 元気が湧く
こどもの歯科

診療科目 小児歯科・矯正歯科

診療時間 ●診療時間 9:00~18:15
●昼休み 平日12:30~14:00
土日13:00~14:30
●休診 火曜・祝日(土日診療)

院長 経歴 H2 九州大学歯学部卒業 九州大学歯科矯正学講座准入局
H8 日本矯正歯科学会認定医取得 小児歯科はまの勤務
H19 こどもの歯科に名称変更 院長に就任

福岡市南区大橋3-2-1 大橋プラザ2F
(市営 大橋駐車場をご利用ください)

☎092(551)8080

ホームページ <http://kodomonoshika/>

